

入山管理アプリ「OWL（オウル）」の実証実験

○ キャプテン山形㈱は、ユーザーが登山口に差し掛かると自動で起動し、登山届・下山届を提出できるスマートフォンアプリ「OWL（オウル）」を開発した。（図：1）

○ ユーザー一人ひとりの入山から下山までの管理を行い、山岳事故の早期発見・迅速な救助を実現する。

・ 下山予定時刻を過ぎても下山届の提出がない場合は、メールで安否を確認するとともに、安否が確認できない場合は緊急連絡先にメールで通知する。

・ ユーザーが緊急時にSOSボタンを押すと、緊急連絡先にSOSメール（救助要請・GPS情報）を送信する。（図：2）

○ キャプテン山形㈱が鶴岡工業高等専門学校の技術的助言を受け、平成27年度より開発を進めるとともに平成28年6月より鳥海山（山形県・秋田県）で実証実験を実施。実証実験の結果を踏まえ平成31年より全国の山に導入を提案する。

キャプテン山形株式会社

システムの概要

● 登山口に設置したBLEセンサーがアプリを起動し各種サービスを提供します。

（図：1）システム構成



（図：2）SOSメール



※メール受信イメージ